

平成
25年度

有限会社島本化繊起毛工場

起毛時にマイクロスコープを駆使した軽くて柔らかい保温性のある高品質な寝具の開発



会社紹介

多様な生地に対応できる“起毛界の駆け込み寺”
自社製品を立ち上げ、次世代の育成にも注力



代表取締役 島本 和寛

起毛機の製造職人であった初代・島本延太郎と2代目・島本欣次が、昭和28年に創業。起毛とは生地の表面の繊維の毛羽(けば)を出す処理のことを指し、同社では毛布やケット、シーツ、布団カバーなど寝装寝具全般に加え、レース、ニット、資材など多種多様な素材や織り・編みに対して起毛加工を施している。起毛師と呼ばれる職人の技術に加え、ドイツ式、フランス式、英式の起毛機も保有し、あらゆる生地の加工を手掛けているため、業界では“起毛界の駆け込み寺”と呼ばれ、全国各地から依頼が寄せられている。

約70年にわたって培ってきた加工技術を次世代に受け継ぐため、職人の育成に力を入れると同時に、オリジナル製品の開発や販売にも着手。自社ブランド「紀州ねる」を立ち上げ、インターネット販売を中心に展開し、起毛メーカーが自ら手掛ける寝具やベビー用品、タオルなどのラインアップを発表している。

補助事業

最新の検査機器を取り入れ
高精度の品質管理を図る

「起毛時にマイクロスコープを駆使した軽くて柔らかい保温性のある高品質な寝具の開発」は、試作品の測定体制の構築や開発を実現するために必要な機械装置を導入した。

起毛加工業を長年営む同社には熟練の職人が在籍し、技能や経験により、他社では製作不可能な起毛品を作り上げている。この生産過程に、デジタルマイクロスコープや自動金属検出器などによる高精度の検査を取り入れれば、より高品質で管理の行き届いた商品づくりにつながる。また、ミシン設備(インターロック、オーバーロック、特殊マジックメロー、コンピュータ刺繍)を充実させることで、縫製のデザイン性の向上と効率性の強化も同時に図った。



成果

新しい生産工程を通して
魅力ある商品が12種誕生

各種生地を用意し、それぞれの特徴に適した、“軽くて柔らかい保温性のある起毛”に加工できるよう、新しい工程と器機で試作を繰り返した。その結果、12種の商品の開発に成功した。加工途中や仕上げ時の起毛状態をマイクロスコープの画像で確認することで誤差をなくし、均一な品質管理を実現するなど、高品質な起毛風合いや機能を兼ね備えた魅力ある商品に仕上げる事ができた。

また、高性能金属検出機で安定的な検出と高速処理が認められ、デジタル処理をすることでより精度の高い検出も可能となった。さらに事業の開始時と終了時で、縫製のスピードと正確性が格段の向上を見せたことも記しておきたい。



今後の展開

ネット販売で全国規模への
マーケット拡大を狙う

起毛加工、縫製加工を社内一貫体制で行い、目標通りの高品質な寝具の開発が現実化したことで、ネット販売事業部では、ユーザーを個人向けに絞るとともに、全国展開へのマーケット拡大を狙う。

また、今回の事業で習得した縫製スキルを活用して、新たな事業化につなげたいと考えている。今年度は初めてマスクの製作・販売を行って実績を残したが、今後も医療や福祉向けの製品を順次作っていくなど、事業拡大に向けて意欲を燃やしている。

会社概要

会社名	有限会社島本化繊起毛工場
代表者	代表取締役 島本 和寛
所在地	和歌山県和歌山市市小路227-5
資本金	300万円
従業員数	23名
業種	繊維加工業
設立年月日	昭和36年4月
TEL	073-457-1180
FAX	073-457-1190
E-MAIL	simamoto.kimou@outlook.jp
URL	http://shimamotokimou.com/